

(参考) アンケート集計結果

問1 どちらから参加されましたか。

大津市	9
彦根市	45
長浜市	2
近江八幡市	5
草津市	10
守山市	7
栗東市	3
甲賀市	2
野洲市	3
湖南市	1
高島市	0
東近江市	11
米原市	1
日野町	1
竜王町	2
愛荘町	4
豊郷町	1
甲良町	2
多賀町	1
他府県	7
未回答	1
合計	118

問2 年齢をお答えください。

①10歳未満	0
②10歳代	9
③20歳代	4
④30歳代	7
⑤40歳代	26
⑥50歳代	28
⑦60歳代	23
⑧70歳以上	21
合計	118

問3 障害の有無をお答えください。

①ある	25
視覚	4
聴覚	8
盲ろう	1
肢体	3
内部	0
知的	3
精神	0
発達	4
難病	2
その他	0
②ない	93
合計	118

問4 本日の条例タウンミーティングに参加された理由をお答えください。(複数回答可)

①イベントの内容に興味があった	36
トークショー	6
行政説明	1
座談会	11
展示会場	5
未回答/その他	13
②県で検討中の条例について詳しく知るため	30
③県で検討中の条例に意見があるため	4
④業務や日常生活に役立てるため	38
⑤その他	25
未回答	7

問5 現在、県では、手話や障害のある方の情報コミュニケーションに関する条例の検討を行っています。県でこのような条例の検討を行っていることを知っていましたか。

①知っており、議論の内容を理解している	29
②知っているが、議論の内容については理解していない	30
③知らなかった	56
未回答	3
合計	118

問6 県で検討している条例についてご意見がございましたらご記入ください。
→ 「条例に対する御意見」参照

問7 本日はどのイベントに参加いただきましたか。(複数回答可)

①わ音トークショー	47
②座談会	46
③展示・体験スペース	65
④行政説明	34
未回答	22

問8 本日参加いただいたイベントについて感想をお答えください。

①大変良かった	32
②よかった	48
③どちらともいえない	3
④あまりよくなかった	0
⑤よくなかった	0
未回答*	35
合計	118

※未回答＝①～⑤に丸を付けなかった方(理由記載欄に感想を記載された方を含む。)

問8 本日参加されたイベントについて感想をお答えください。

【理由】欄に記載があった感想（抜粋）

（わ音トークショー）

- ・ 曲「だいじょうぶ」。誰もが感じ、同じ思いを持っているのではないのでしょうか。心に響きました。ありがとうございます。
- ・ わ音トークショーの中で、病気や障がいがあっても、できること、できないことがある。何もできなくて全てに助けが要るのではないという言葉が胸に残りました。難病指定から外れている人の相談、集いの場について教えてもらった。
- ・ わ音さんのトークが実際の体験を話してくださり、障害があってもできることがあり、尋ねることが大事とお話されていたこと、何に対しても必要な事だと感じました。

（座談会）

- ・ 座談会にて、手話だけでも口話だけでもなく、色々な取組があってよいのだ、その人に合った方法でやればよいとの意見に納得しました。
- ・ 口話法は滋賀の方が大きな役割を果たしていたことを初めて知りました。時の政治的な背景は別として、口話法も手話法も有効な手段だけに、一方に押し付けるような流れになったことは悲しいことです。
- ・ 手話を学んでみようと思いました。手話が禁止されていた時代があり、口話教育にも一つの理があり、聾話学校は日本に唯一等、知識をいただきました。
- ・ 映画見に行きます。口話と手話、当時のことを知りたい。自閉症当事者に対する支援について、イラスト付で理解が深まった。学校の話、各事例紹介は参考になった。よい企画でした。
- ・ コミュニケーションの取り方は“心”&“意志”が通じればいかなる方法でもよいとお話、参考になりました。万人に共通しますね。
- ・ コミュニケーションの大切さ、誰にとっても必要なものということが伝わったと思います。
- ・ 座談会で色々なコミュニケーションの方法を知ることができました。
- ・ 胸にささる言葉ばかりでありありがとうございました。自閉症支援の方法だけでなく、コミュニケーション、本人の思い、しっかり大切にしたいです。
- ・ 「その子にあった」というのがけっこう難しい。人手が要るし、支援者の技量もいるし。意志を伝えるというのはとても難しい。イライラしている本人をみると何かうまく伝える手段はないかと思います。
小さなサインを見逃さないというのが大切だと思う。社会の中ですべての人が生きやすい暮らしやすい世の中にするための啓発活動が大切だと感じています。共感するところが多くありました。
- ・ ①聴覚障害者のコミュニケーションの歴史の映画「ヒゲの校長」。口話法(昭和8年)、手話禁止など知る機会となった。
②自閉症(発達障がい者)にとって、本人のことをよく知ろうとするとご両親の姿に「うんうん、そうそう」と共感しました。コミュニケーションの方法は、一人一人それぞれですが(うちの子はマカトン法)、みんなにいろんな方法を知ってほしいと思いました。
③自己肯定感の大切さ、小さい小さいほんのわずかなサインに気付く周りの人たち・・・(見逃さない)特別支援学校の先生方の姿を知り、うれしく思い、どんな障害であっても何かしらのコミュニケーションがある！！
- ・ いろんな方のお話が聞けて、すごく勉強になりました。障害の子どもがいるので、子どもの思いもあらためて気づかされました。

- ・ 違う立場の切り口からコミュニケーションの話をお聞きできた。あきらめない。工夫のこだわりに感心した。
- ・ 福永先生の子どもの向き合い方や藤本先生の出会われた子どもさんのお話を聞いて、本当に勉強になりました。これから本人(子ども)との向き合いを今一度考えさせられました。ありがとうございました。
- ・ 教育の現場では「～ではなくては！！」「～させなくては！！」ついつい思ってしまう、本人の「したい！！」になかなか応えられていないのではと思う毎日なのですが・・・日々、色んな姿を見せてくれる子どもたちに、どんな顔していこう！！何か勇気もらったように思います。

(展示・体験スペース)

- ・ 知らなかったことが知れてよかったです。
- ・ 自分の名前が(点字で)打ててうれしかったです。
- ・ 自分が話したことが文字になり伝えられる機械があるというのを初めて知り、とても便利だと思いました。子どもが点字を打つ体験をさせていただき、自分の名前を打つことができ、喜んでいました。これを覚えていけたらいいなと思いましたが、指で触ってみて、感覚がわかりませんでした。ポコポコしているのはわかるのですが・・・とてもムズかしい！！今日は体験できて良かったです。
- ・ ブリスターで自分の文字が打ててうれしかったし、自分が話した言葉(が文字)になり、どちらも日常では便利に使えらると思います。とても楽しくできました。

問9 その他ご意見がありましたら自由にご記入ください。

- ・ 紙袋が点字まで驚きました。
- ・ とても勉強になりました！個に応じたコミュニケーションを大切にしたいと改めて思いました。
- ・ ご紹介いただいた映画を観たいです。手話言語とコミュニケーションについてはこれからも検討されるとのことで、よりよい条例になるよう期待しています。
- ・ 手話だけでなく、コミュニケーション手段について、いろんな手段があるということ条例を考える上で決めていって下さることが大事ですね？すべての障害種別に関して理解がある上での条例だと思いました。今日はすてきな機会をいただき、ありがとうございました。
- ・ とても多様な個々の障害に対応するのは難しいことだと思う。本人だけでなく、家庭や周囲にも広く深い理解が必要で、ぜひ、どんな人にも幸せな時が持てるようになってほしいと思う。
- ・ 聴覚障害として認定されないが、踏切の警報音も聞こえない人もいる。そんな人たちへの支援が足りないし、相談可能な窓口を周知し、対応が必要と思う。どの障害にも言えるのは、コミュニケーションが重要だし、社会にその不自由をいかに気付かせるかが大切。
- ・ 手話に関することが多かったので、他のコミュニケーション手段についての話題提供があった方がよかった。児童に対するコミュニケーション手段の指導が重要だと思います。そのための支援者の養成も重要だと思います。
- ・ 公布後の県民の周知も大切だと思います。